

9-2	やっぱりマスクも国産が安心!?	所属 東洋大学文学部 氏名 栗原 久
資料名	田中鮎夢「不織布マスクの輸出入」(独立行政法人経済産業研究所) (https://www.rieti.go.jp/users/tanaka-ayumu/serial/030.html)	
資料内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ マスク国内生産比率：2010年37%→2018年20% (日本衛生材料工業連合会の資料による) ○ 2010年→18年：マスクの国内生産は3.5倍に、一方、輸入量は9.5倍に。 ○ 「不織布マスク等繊維製品」の輸出国別シェア：第1位→中国43.0%，第2位→ドイツ7.2%，第3位→5.7%アメリカ。(日本1.0%) ○ 「不織布マスク等繊維製品」の輸入国別シェア：第1位→アメリカ33.7%，第2位→日本9.9%，第3位→ドイツ8.3%。 ○ 日本の不織布マスク等繊維製品の輸入状況：中国→77.0%，ベトナム→7.3%，韓国→2.8%。 	
教科書等との関連	中学校公民的分野 グローバル経済 金融 高等学校公民科 貿易と国際分業	
キーワード	コロナ 国際経済 貿易 比較優位 特化 分業	
ねらい	◆「貿易と国際分業」で比較生産費説や分業、自由貿易などの見方・考え方を学習した後に、「感染症の拡大といった非常事態に備え、マスクのような必需品は国産化すべきである」といった主張を検討することを通して、自由貿易の課題について理解する。	
活用場面 あるいは 授業プラン の概略	<p>発問</p> <p>社会(公民)科の教科書では、「各国が比較優位のある財の生産に特化し、貿易を自由に行うことで、貿易参加国すべてに利益がある」と説明されています。自由貿易の考え方ですね。</p> <p>ところで、日本では、マスクの約8割は輸入品です。2020年の春、新型コロナウイルス感染症が広まるなかで何が起こったか、覚えていますか。そうです、マスク不足で、みんな困りましたね。そのため、政府は、マスクの転売規制を行ったり、マスク生産を新たに行おうとする企業に対して設備導入費用の一部を補助する施策を実施したりしました。家電や家庭用品などのメーカーのなかには、新規にマスク生産に乗り出したところがあります。</p> <p>マスク生産は、日本の比較優位産業ではないでしょうか。だとすれば、マスクのような製品は海外から輸入し、日本は比較優位のある製品の生産に特化したほうが、経済効率が高まるのではないのでしょうか。それとも、万が一のときに備えて、比較劣位にある産業でも国内生産を維持したほうがよいのでしょうか。各グループで話し合ってください。</p> <p>解説</p> <p>食料安全保障という考えがあります。「すべての国民が現在から将来にわたって良質な食料を合理的な価格で入手できるよう保障していくこと」です。</p> <p>これに倣えば、「すべての国民が現在から将来にわたって良質なマスクを合理的な価格で入手できるよう保障していくこと」が「マスク安全保障」として求められることとなります。このためには、国内生産設備の維持、安定的な輸入ルート確保、適切な在庫の保持などが必要です。当然、これには一定のコストがかかります。私たちは、どの程度のコスト負担ができるのでしょうか。また、そのコストは誰が負担するのでしょうか。</p>	